

会 議 速 報

開催概要

- 名 称：令和元年度 新潟市花育推進委員会
- 日 時：令和元年5月31日（金）午前10時～11時半
- 場 所：食育・花育センター2階 講座室A
- 出席委員：青山委員、片岡委員、坂上委員、玉木委員、中野繁子委員、中野優委員、八百板委員、横山委員
（欠席：岸本委員、須田委員）
- 事務局：食と花の推進課／松尾課長、岸本補佐、黒崎、岩城、渡邊、食育・花育センター／真柄センター長、岩野マネージャー
- 関係課：公園水辺課、農村整備・水産課、学校支援課、保育課

概 要

1 平成30年度 花育推進事業の取り組みについて（資料1）

- ・ 数値指標の取り組み
- ・ 関係団体と連携した取り組み

（事務局説明）

- ・ 資料1に基づき平成30年度数値指標一覧の確定値を報告。合わせて、指標ごとの取り組みについて説明。
- ・ 資料1に基づき、関係団体と連携した取り組みについて説明。

2 令和元年度 花育推進事業の取り組みについて（資料2）

- ・ 資料2に基づき、令和元年度 花育推進事業の取り組みについて、所管ごとに説明。

（食と花の推進課）

- ・ 「花育の日」における普及活動
4月の取り組み及び今秋の取り組みについて
- ・ 花育マスターによる地域での花育活動の推進について
- ・ 関係団体と連携した取り組み
「にいがた花育推進委員会」「にいがた花絵プロジェクト実行委員会」と連携した取り組みについて
- ・ 花育に関する情報発信
花育通信の発行等について

（食育・花育センター）

- ・ 園芸講座・展示会、園芸相談について
- ・ 団体体験プログラムについて
- ・ 関係団体と連携した取り組みについて
- ・ 花育に関する情報発信について

（公園水辺課）

- ・ 緑化活動推進事業について

(農村整備・推進課)

- ・多面的機能支払い交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組みについて

3 次年度以降の花育推進の取り組みについて

- 事前にいただいた委員の意見をもとに、「花育の日の取り組みを通して、花育の普及活動を効果的に行うためには、どんな取り組みをしたらよいか」について、意見交換を行う。

(主なご意見等)

▷無関心層に対するアプローチについて意見交換

- ・花に関する場所（食花セなど）ではなく、多くの人が集まる場所に出向いて行くことが大事。
大型スーパー、JR 新潟駅など。花文化祭に参加など。
- ・花を贈ろうキャンペーンなどは、人目につく場所で実施したほうがより効果が期待できる。
- ・市民に花をプレゼントするなどの取り組みは予算が必要。花育体験なども材料費などが必要であり、予算がないとこれらの取り組みは制限される。(別の工夫で実施)
- ・メディアの情報発信力は効果的なので、取組をPRしてもらおう。
- ・チューリップ～100周年の中で何かできないか。メディアが注目しているので。
- ・委員にメディアの人に入ってもらうのもよい。
- ・普段の取り組みだけでなく、花山車を出すなど、アイデア次第でなんでもできる。
- ・無関心層の定義が難しいが、無関心層に、花育に関して、直接、質問するのが良いのでは。
- ・プロの企画会社に提案してもらおう。(予算が必要だが・・・)
- ・若者のテレビ離れ。首都圏では、パンケーキやタピオカなどが若者の間で注目されている。新潟の若者は、こういったものを好まない、
- ・ターゲットをどこに設定するか。定めていくことが重要。
- ・花に関する意識調査のようなものをできないか。たとえば、市職員など・・・
- ・花を嫌いな人はいないと思うので切り口はたくさんある。
- ・ターゲットは、花育の育を考えると、次世代が第一ターゲット。子どもたちが花に接する機会を持つことが大事。
- ・ターゲットを決めたら何をしたらよいか。何をするか。アクションを決めて実行していくことが大事。
- ・市として、どう花育を進めたいか。ゴールを明確にする必要がある。
- ・秋葉区は、花の歴史がすごいがPRが足りない。

(会議資料)

- ・次第
- ・座席表
- ・令和元年度 新潟市花育推進委員会委員名簿
- ・平成30年度 花育推進事業の取り組みについて(資料1)
- ・令和元年度 花育推進事業の取り組みについて(資料2)
- ・次年度以降の花育推進の取り組みについて(資料3)
- ・平成30年度 多面的機能支払い交付金活動事例集 (冊子)